



平成28年6月9日

各 位

会 社 名 神鋼鋼線工業株式会社
代表者名 取締役社長 藤 井 晃 二
(コード番号 5660 東証2部)
問合わせ先 総務本部長兼同総務部長兼企画部長
吉 田 裕 彦
(TEL 06-6411-1051)

当社子会社における JIS 規格に関わる不適合事象について

今般、当社子会社である神鋼鋼線ステンレス株式会社（本社：大阪府泉佐野市、社長：山口和良）において社内調査の結果、下記の通り JIS 規格に関わる不適合事象が判明致しました。現在、経済産業省および日本検査キューエイ株式会社（以下、JICQA）に発生事実について報告するとともに、対象製品のお客様に対して報告を行い、状況に応じた適切な対応をとるべく協議を行っております。

本来徹底した品質管理を行うべきところ、このような事象を引き起こしましたことを厳粛に受け止め、真摯に反省するとともに、お客様をはじめ関係者の皆様に多大なご心配、ご迷惑をおかけしておりますことを心よりお詫び申し上げます。

今後は、お客様に対して誠意を持って対応させていただくとともに、関係当局からのご指導をいただきながら、品質管理体制について見直しを行い、全力で再発防止と信頼の回復に努めてまいります。

なお、業績に与える影響については現時点で不明です。今後、必要に応じて公表を行う予定です。

記

1. 調査結果

検査記録のある9年2ヶ月間（2007年4月～2016年5月）に出荷したばね用ステンレス鋼線（JIS G 4314）55.6トについて、引張強度の試験値が JIS 規格を満たしていないものを、試験値を改ざんして JIS 表示した製品として出荷していたことが判明いたしました。

用途別としては、家電・家庭用品等向け74%、給湯器等のガス設備向け12%、自動車向け6%であり、現時点で用途が未判明のものが8%となっております（※1）。引き続き、用途の確認を進めるとともに、納入先であるばねメーカー様のご協力を得ながら、最終納入先に品質上・安全上の問題がないか確認してまいります（※2）。

- （※1） 主な用途：日用品用ばね（約28.7ト）、給湯器配管内コイル（約6.4ト）、OA機器用ばね（約3.5ト）
- （※2） 今回の対象材の引張強度は規格上の下限値の96%以上となっており、一般的なばねの設計余裕度を考えると、市場折損リスクは極めて低いと想定しておりますが、引き続き調査・確認を進めてまいります。

2. 不適合事象発生背景

ばね用ステンレス鋼線は、最終強度のばらつきが大きく、JIS 規格下限値外れが発生することがあります。引張強度の試験値は検査証明書に手作業で入力しており改ざんが可能であり、また、製造担当管理職が品質保証の責任者を兼務していたため、改ざんが発見されにくい状況にありました。

最初に不正を始めた動機はまだ解明できていませんが、恐らく不良品を減らすために試験値の改ざんを行い、その後担当者が代わっても、法令に対する認識の低さから、安易に前任者にならって同じように改ざんが続けられてきたと考えております。

3. 今後の対策

今後、当社による監査など品質保証体制の強化、担当業務の見直し、検査結果入力作業の見直しなどの対策を早急に講じることにより、再発防止に努めてまいります。

現在同社では、ばね用ステンレス鋼線 (JIS G 4314) に加えて、JIS 認証を一括取得していたステンレス鋼線 (JIS G 4309)、冷圧用ステンレス鋼線 (JIS G 4315) につきましても JICQA の指示を受けて、出荷を停止しております。

(ご参考)

神鋼鋼線ステンレス株式会社の概要

- ① 社 名：神鋼鋼線ステンレス株式会社
- ② 本 社：大阪府泉佐野市鶴原4-10-20
工 場：同上
- ③ 代 表 者：代表取締役社長 山口和良
- ④ 従業員数：約50名
- ⑤ 資 本 金：99百万円
- ⑥ 出 資：神鋼鋼線工業株)100%
- ⑦ 売 上 高：約10億円 (2015年度)
- ⑧ 事業内容：ステンレス線材製品の製造 (製品の販売は神鋼鋼線工業株)が担当)

以 上